

ミニガイド報告

記 N

○ バードウォッチング入門

1. 日時：2022. 5. 7 (土) 9:50 ~ 12:20 天気 晴れ
2. リーダー：N ききみみメンバー：3名
3. 参加者数：大人 11名 子供 4名 対象者：小学生以上
4. ねらい：バードウォッチングを通して自然の面白さや大切さを感じてもらう。
5. 活動場所：センターベランダ ~ 管理道 ~ 水飲み広場 ~ 芝生広場 ~ センター
6. 活動内容：双眼鏡と図鑑の使い方、基本的なマナーを説明した後、ゆっくりと森を歩きながら野鳥観察を楽しむ。

時間・場所	内 容
9:50 ベランダ	・双眼鏡と図鑑の使い方の説明。
10:20 センター 周辺	・センターを出た直後にモンキアゲハがツツジにいたので練習として観察しつつ、モンキアゲハの名前の由来を説明。
10:40 水飲み広場	・カワラヒワのさえずりがよく聞こえたのでカワラヒワについて説明。 ・クワゴマダラヒトリの毛虫がいたので、毛虫が野鳥にとって大切な食糧であることを説明。毒がないことを説明し、参加者のお子さんの手のひらにのせて命を実感してもらった。 ・スズメが森の中の木に数羽いるのを観察。スズメが森の中にいることは珍しいことであることを説明。
11:20 芝生広場	・藤棚でセンダイムシクイがいたが、見つけにくい鳥なので経験者しか見られなかった。 ・カワラヒワとホオジロが別々のマツの木にとまってさえずりしていたので全員でじっくり観察できた。 ・アオゲラのさえずりが聞こえてきたのでアオゲラとホオジロについて説明。 ・上空を通過するカラス類、トビを観察。
12:00 センター	・アンケート回収 「鳥合わせ」 ・野鳥観察を続けたいと思われた方へ向けて、マナーについて注意喚起を行う。
12:20	解散

7. 鳥合わせ

- ・確認できた種：トビ、コゲラ、アオゲラ、サンショウクイ、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、センダイムシクイ、メジロ、キビタキ、カワラヒワ、スズメ、ホオジロ (計16種)